

# 精神医学概論

科目ナンバリング PSS-201  
選択 2単位

池田 政俊

## 1. 授業の概要(ねらい)

精神医学は、自然科学と人文・社会科学の両方の側面を持つ臨床医学でも特殊な領域である。心理臨床にたずさわろうとする者にはその学習が欠かせない。本講義では、こころの病気とは何なのか、どのような状態が病とされているのか、治るとはどういうことなのか、といったことについて、精神医学が脳科学や心理学が社会との関連の中で、どのように考え、その体系を作ってきたかについて、大まかに学ぶことを目的とする。

## 2. 授業の到達目標

「病」とは何か、という本質的な問題を踏まえながら、精神医学の歴史や概要を学ぶ事を目標とする。

## 3. 成績評価の方法および基準

講義ノートの提出10%、試験(最終講義日)90%の予定である。出席は義務付けないが、期間中数回、その日の講義内容を30分間ほどかけて自らとったノートに沿ってまとめ、提出を求める。講義出席前に下記池田のホームページを参照し、パワーポイントで製作したPDFファイルをプリントアウトしてくることを勧める。

## 4. 教科書・参考文献

教科書

テキスト:特に定めない。

その他、講義中および下記ホームページで適宜表示する。

参考文献

上島 国利(編集)、平島 奈津子(編集)、上別府 圭子(編集) 『知っておきたい精神医学の基礎知識—サイコロジストとコ・メディカルのために』(単行本) 誠信書房

メデカルフレンド社(共著) 『新体系看護学全書:精神看護学Ⅰ／精神看護学概論／精神保健』第1章Ⅱ精神(心)の構造とはたらき

## 5. 準備学修の内容

事前にPPTに目を通すことや、テキストや、講義内やHPで提示する参考文献に目を通し、A4で1枚程度のレポートにまとめてくることが望まれる。

## 6. その他履修上の注意事項

聴講しようとしている他学生の邪魔をしないこと(私語、携帯電話など)。また、主体的、積極的な参加が望まれる。

適宜HP(<http://apps.v.main.teikyo-u.ac.jp/~m-ikeda/index.htm>)を参照すること。

PDFファイルを閲覧するためのパスワードは講義中に表示するほか、8号館7階心理学実験準備室前の掲示板に掲示する。

※ 2018年度以降の入学生には、公認心理師受験資格に必要な科目です。

2017年度以前の入学生は、心理学科のホームページを参照してください。

## 7. 授業内容

- 【第1回】 以下の予定であるがあくまでも目安である。  
総論:精神障害の考え方・症状・病理について学ぶ
- 【第2回】 総論:精神疾患総論(代表的な精神疾患についての、成因、症状、診断法、検査、治療法、経過、本人や家族への支援を含む。)について学ぶ
- 【第3回】 神経症性障害について学ぶ
- 【第4回】 心身症について学ぶ
- 【第5回】 睡眠・摂食・性関連障害について学ぶ
- 【第6回】 気分障害(うつ病、躁うつ病)について学ぶ
- 【第7回】 統合失調症1について学ぶ
- 【第8回】 統合失調症2について学ぶ
- 【第9回】 脳の急性・慢性障害、器質性精神障害について学ぶ
- 【第10回】 アルコール・薬物関連障害について学ぶ
- 【第11回】 児童・青年期精神障害  
(精神遅滞、発達障害—学習障害・自閉症・アスペルガー障害など)について学ぶ
- 【第12回】 性格のかたより(人格障害)について学ぶ
- 【第13回】 治療法(向精神薬をはじめとする薬剤による心身の変化、を含む)について学ぶ
- 【第14回】 医療機関との連携、病院精神医療および地域精神医療について学ぶ
- 【第15回】 まとめと試験